

平成31年度事業報告書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人TICO

1 事業の成果

アフリカ・アジア地域に対して地球規模の問題に苦しむ人々の自立支援と持続可能な社会の構築を目指し、事業を行った。

ザンビア共和国では、平成29年秋から立ち上げたザンビア大学教育病院（UTH）における「ザンビア医療協力事業」を継続。今年度は、当団体から日本人による心臓血管外科手術チームを合計3回派遣し、現地人医師に対して、症例にあわせた手術の講義を行うとともに、模擬手術の訓練を行い、後に現地人医師の執刀による手術を6例実施しそのサポートを行った。現地人医師の知識や技術、経験は確実に向上しているものの手術例の数を増やすには、消耗品の購入費用捻出など課題が多く、ザンビア側からは支援の継続を強く求められている。

派遣の詳細は、以下のとおりである。

2019年 5月28日～ 6月13日（医師2名、看護師2名、臨床工学士1名、コーディネーター1名）

2019年10月 3日～10月17日（医師1名、看護師1名、臨床工学士1名、コーディネーター1名）

2020年 2月16日～ 3月 2日（医師2名、看護師1名、臨床工学士2名、コーディネーター1名）

ザンビア国内では、この心臓手術について、国営テレビのニュースでも取り上げられ、ザンビア人による初めての弁置換手術を成功したと大きな評価を得るとともに、今後に大きな期待を寄せている。

次に、ザンビアにおいては、中央州チサンバ郡にあるンコンジェ小学校の校舎建設資金の援助を6月に行い、10月にも追加で資金を提供し、建設状況のモニタリングを行った。校舎建設に必要な資材はすべて購入済みで、事業年度末の段階では、建設工事の7割程度が完了している。

カンボジア国においては、昨年度末に採択が決定した「JICAの草の根技術協力事業（地域活性化枠）事業」の開始に向けて、JICA 四国、JICA カンボジア事務所およびカンボジア保健省などとの契約手続きを進め必要書類を提出した。しかし、同国の保健省やNGO登録管轄官庁の許可が遅れており、契約にはもうしばらく時間がかかる見込みである。

国内事業に関しては、地球人育成事業として、派遣要請を受けた小・中学校・高等学校や企業へ国際理解教育の講師派遣を合計6回行った。また、季刊誌の定期的な発行は、海外での事業規模が縮小傾向にあるため2回に留まった。ファンドレイズについては、公益社団法人風に立つライオン基金から助成金に応募し、昨年引き続き助成金を獲得した。また、株式会社JAMMINとのコラボ企画としてチャリティーTシャツの販売を行い寄付を募った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
生活向上の機会を著しく奪われている人々の問題解決への協力事業	ザンビア医療協力事業 ザンビア人医師の研修(日本及びザンビア) 心臓手術に必要な機材の購入支援等	年3回	ザンビア ルサカ市	16人	ザンビア共和国 住民400人	5,785
	ザンビア教育支援事業 ・ンコンジェ小学校校舎建築支援	6月 11月	ザンビア 中央州 チサンバ郡 ンコンジェ	1人	ンコンジェ地区 住民2万人	473
	カンボジア医療協力事業 ・JICAの草の根技術協力事業(地域活性化枠) 新規プロジェクトの契約手続きに向けた調整	年4回	バタンバン州	3人	バタンバン州 医療従事者 及び 住民3万人	535
会報及び出版物の発行	機関誌,パンフレットの発行・広報媒体作成,その他の広報活動	年3回	事務局	2人	会員・一般 500人	13
国内での開発教育に関する事業	地球人育成事業	年6回	事務局等	3人	徳島県民 300名	0
他の市民活動を行う団体の運営または活動に関する連絡,相談,助言等の事業	他の市民活動を行う団体との共同支援活動,他の市民活動を行う団体への相談,助言	随時	事務局等	1人	他の市民活動を行う団体(約20団体)	0
	事務局運営(管理費)	通年	事務局	1人	全事業対象者	3,559

(2) その他の事業

実施した事業はありません。